

# 長崎歯科衛生士専門学校

## 令和4年度 第1回 学校関係者評価委員会会議録

日 時：令和4年8月22日（月曜）午後6時30分～7時35分

場 所：長崎県歯科医師会館 3階学校会議室

出席者：【評価委員】 5名

【専門学校】 5名

司会進行：井手教務部長

### 1. 開 会

### 2. 挨拶（岩永副校長）

### 3. 出席者紹介

- ・教務部長より退任者の報告、新任者自己紹介

### 4. 報 告

- ・昨年度、歯科衛生士国家試験本校受験生の合格状況について→全員合格
- ・今年度新生、在籍者数について→退学者2名、復学者・留年者各1名
- ・臨床、臨地実習受け入れ状況について→昨年より実習可能
- ・今後の学校行事の開催予定について→学生が楽しめるよう開催したい
- ・6～8月のオープンキャンパス参加状況について→次年度の入学につながることを期待
- ・TV番組で、オープンキャンパス情報を放送したことについて→視聴

### 5. 協 議

#### (1) 令和3年度自己評価について

##### <教育理念>

- ・「人に優しい歯科衛生士」の育成に今後も取り組んでいきたい

##### <学校教育目標>

- ・卒後研究の検討の必要性について今後検討
- ・卒後キャリアアップの意識を高める活動の必要性→学生の視野を広める目的

##### <重点的に取り組むべき項目>

- ・さまざまな場で働く歯科衛生士を知ることによって学生自身のキャリアイメージを高められるのではないか

##### <教育理念目標>

- ・保護者からの評価を得ることにより、保護者にも本校の活動を周知するきっかけとなるのではないか→今後検討

##### <学校運営>

- ・相談窓口の設置の必要性について→守秘義務他活用のための規則が必要。学生自身が学校関係者には相談できない場合もあるので、学外の相談窓口も必要なのではないか。また、学長直通のルートになると、現場の教員が知りえない問題もでてくるため、慎重に検討すべき
- ・情報システム化等による業務の効率化の評価が低い。具体的に見ていくとよいのではないかと

##### <教育活動>

- ・講義終了後のアンケートを学生から収集しているが本心を聞き出せない→全員でなくても数人意見を記載したらよいのではないかと。建設的な意見は聴いてよい

<学修成果>

- ・卒業生に講話を依頼した。効果的だったので今後も続けたい。また、入学者のモチベーションをあげる目的で、入学前教育を導入した

<学生支援>

- ・保護者会はないが、保護者を患者とした実習が双方にとって良い機会になっている。→保護者のバックアップは必要で、協力が得られる体制づくりのために学校評価アンケートの活用も視野に入れるとよいのではないか

(2) 令和4年度自己評価年間計画について

資料のとおり進める

6. 閉 会